

愛媛大学 教養部 情報科学科

愛媛大学でORの教育・研究に学部または学科として対応している研究室はない。理・工・教育・教養の数学科にそれぞれ所属する教官，工学部電子工学科，土木工学科や法文学部地理学科の一部教官が関連教科を担当している。

わが情報科学科は一般教養段階から情報処理教育をとるという文部省の方針から国立大学の教養部では珍しく比較的早くから存在し（52年より，非常勤講師による講義は47年より），現在専属定員2名（もうすぐ3名になる予定），学内非常勤2名，学外非常勤2名で，1，2年生のほぼ全員に実習をともなう情報処理教育を行なっている。

講義内容等は表1のとおりであるが，一般教養であるのでそれほど専門的内容に立ち入ることはできない。

情報処理教育は83年2月に開設した情報処理センター（FACOM M-180II AD）の学生実習室（端末40台）を使用して主としてTSSで行なっている。センターに加えて研究面での施設としてはパソコン数台，ミニコン（HITAC 10II，買い換えを申請中）がある。

表 1

情報科学A 1	文系のための情報処理概論， BASIC 等
情報科学A 2	OR， 統計概論， 数理計画， シミュレーション
情報科学B 1	理系のための情報処理概論， FORTRAN 等
情報科学B 2	数値計算， データ構造， PASCAL 等

研究内容は待ち行列シミュレーション， 画像処理， 情報理論， 情報処理教育システム等があるが， 情報化社会への対応がせまられている昨今， 当地（松山市， 道後温泉の近く）でも， 通産省のニュー・メディア・コミュニティ構想， 郵政省のテレピア構想などに積極参加している関係上， 専門委員等の参画を要請されている。

パソコンによる処理は CP/M-86， MS-DOS および UNIX 等の OS 比較やパーソナル・データベース， 統合化ソフトウェア， LAN， 画像情報処理等幅広い関心を教室としてももっているのので， OR の応用特に personal computing 分野に， 研究・教育両面で関与してゆくつもりである。

（森作常生）

• ミニ • ミニ •

• O • R •

差別化のOR

• 都心につぎつぎとホテルが開業している。飽和したかみえる市場であるが，これをセグメントに分け，OA，情報化時代に対応したビジネス機能の重視など差別化戦略によって新しい需要を開拓している。成熟経済のもとでの，既成概念では考えられない新ビジネスである。

• 日本文化における美の意識は，撰関時代の“ものあわれ”，鎌倉時代の“幽玄”，室町期の“わび”，そして江戸時代の“いき”にあるという。いずれも従来の意識のうえに新しい心情を強調することで共存してきたが，その担い手は特定のセグメントの人々であった。宮廷の大宮人，上流社会の文化を担った人々，そして芸者と一部の町人階級であった。

紫式部，清少納言はじめ女性による文学が特定の

時期に一斉に花開いたのは，世界に類がないと言われるが，この女房文学も宮廷の女房たちという狭い市場を対象にしつつ，かつわが国で生まれた仮名という技術的ツールを用いたものであった。市場のセグメンテーションとこの市場に合ったツールにより，男性による漢文文化からの差別化を試みたものであった。もっとも，その価値観は，経済的側面ではなく，女性の自己表現であったが，ORの立派な先覚者であった。

• 文学と美術を中心にした日本の文化は，哲学と宗教音楽という抽象的な西欧文化とは異なった道をたどるなかで，OR的意識に支えられてきたといえよう。

（山下達哉）